



DEREK PRINCE MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

癒やしを受け取る

イエスは私たちが癒されるために傷つけられました。

日 105/365

Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

１９４３年、私は病気のために何か月も入院していました。救世軍から一人の女 性が来て、私を見舞い、祈ってくれました。その時、私は神からのことばを受け取 りました。「カルバリのみわざを忘れるな。すべての点で完璧、すべての点で完全 なそのみわざを。」その時以来、このことばを思い巡らし続けていますが、私はま だ十字架で起こったことの外側に触れたに過ぎません。十字架みわざは完全です。 どのような側面から見ても、十字架は完成しています。私たちの必要がどのような ものであっても、十字架で永遠に解決されているのです。

「簡単そうに聞こえるが、どのようにしたら癒やしを受け取ることができるの か」と思う人もいるでしょう。癒やしについては、多くの人が、「癒やすことが神 のみこころかどうかをどうやって知るのか」という疑問を持っています。

私たちが神の子どもであるなら、その質問は間違っています。癒やしは子どもたちのパンです。

> イエスは、「子どもたちのパンを取り上げて、小犬［信じない者］ に投げてやるのは良くないことです」（マタイ１５：２６）

と言われました。ツロ・フェニキアの女は正しい答えをしました。「主よ、私はパンを求めていません。 ただパン屑をください。そうすれば、私の娘から悪霊を追い出すことができま す。」その女は実に信仰がありました。パン一斤を与えられていながら、なおも病 気だった子どもたちよりも、はるかに大きな信仰を持っていました。父親は自分の 子どもにアイスクリームや骨付きのステーキを与えることはできないかもしれませ んが、世のすべての父親は食べ物を与える義務があります。父なる神は、私たち神 の子どもたちのパンをテーブルに用意しておられます。

私はその質問をこう言い換えたいのです。 「すでに与えられている癒やしを、ど のようにして受け取ればいいのでしょうか。」信者にとって、癒やしと贖いは決し て未来のものではありません。私たちの相続を受け取ることは、私たち次第です。 すべての相続は、イエスの死によって保証された契約によって私たちに与えられて いるのです。

感謝します、イエス様、十字架でのあなたの働きに。私は今、カルバリーでのイエスの完全な働きを受け入れていることを宣言します―イエスは私が癒されるために傷つけられました。アーメン。

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク

ディボーション ★

原稿: WD-B097-105-JPN

最終更新日: 07 Oct 2026

ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources

